

経営比較分析表

秋田県 五城目町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	63.32	91.10

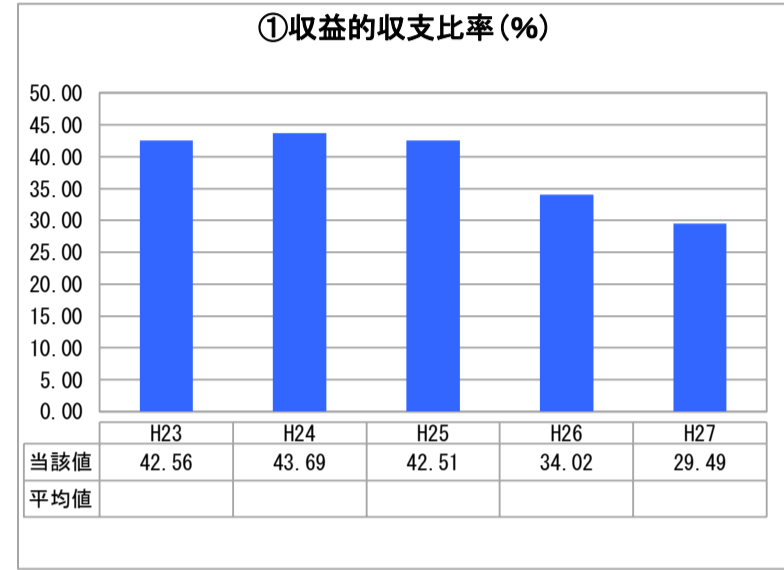
1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
2,376

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,984	214.92	46.45
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,278	3.19	1,968.03

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



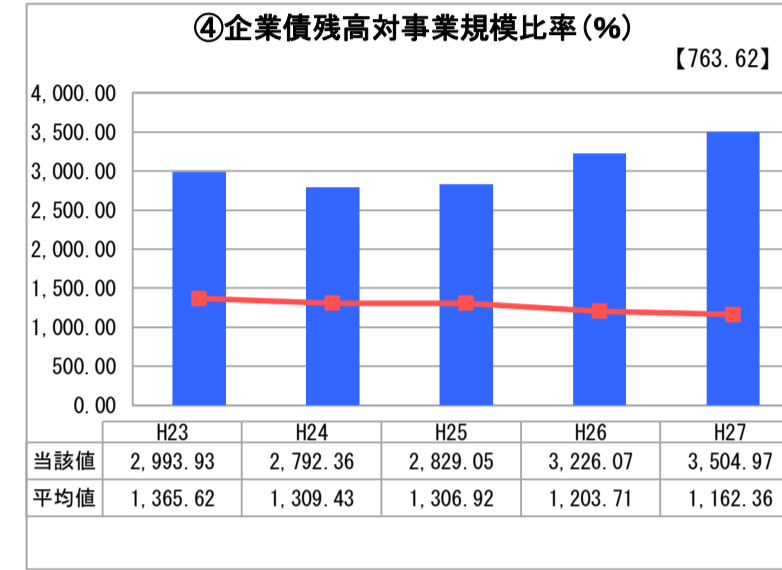
「単年度の収支」



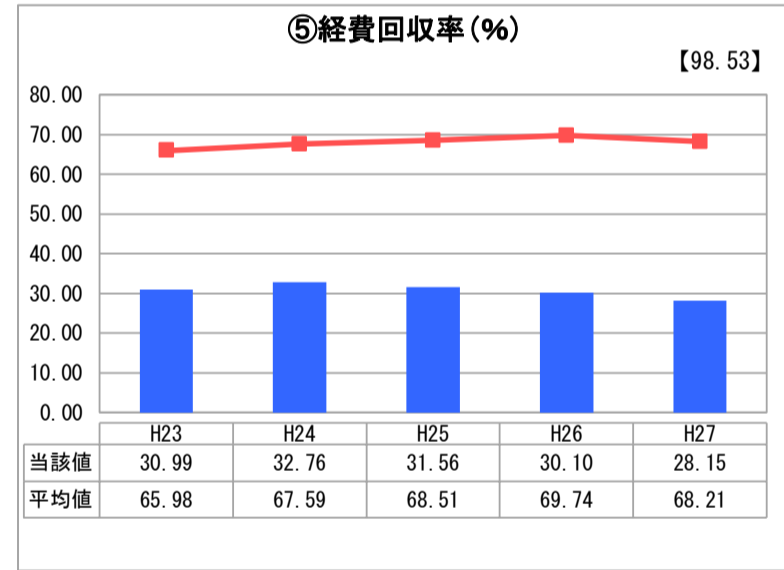
「累積欠損」



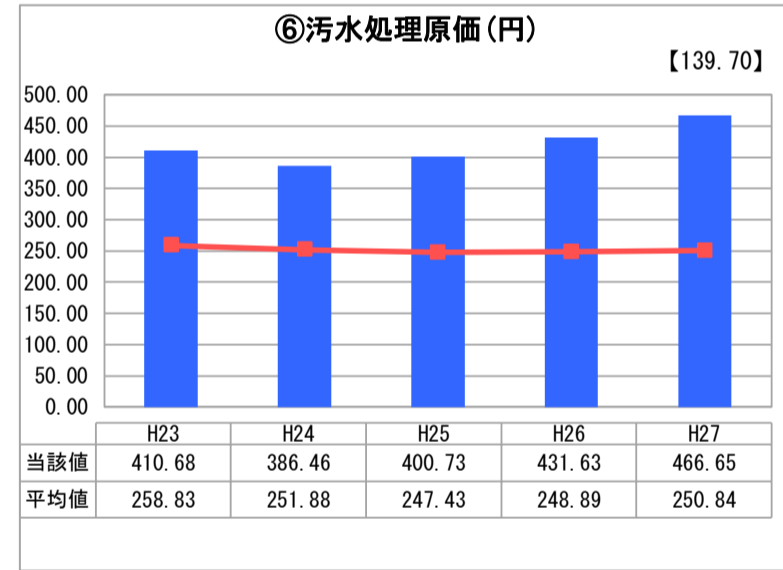
「支払能力」



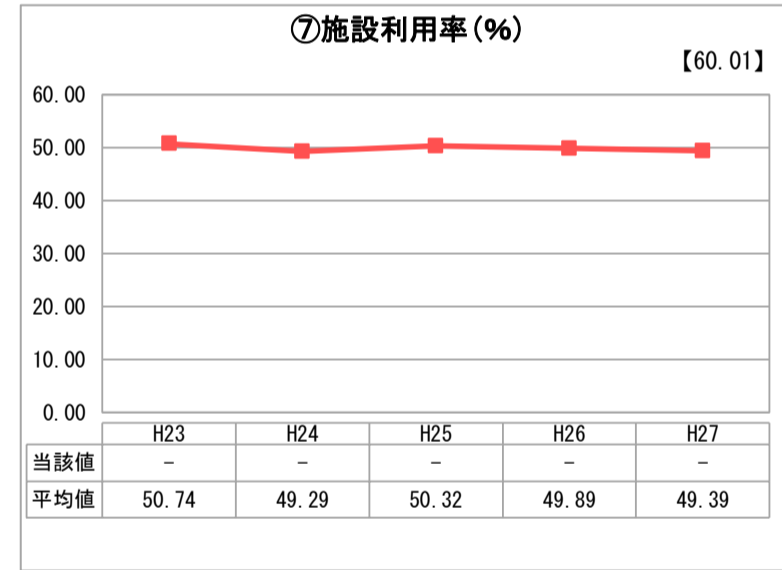
「債務残高」



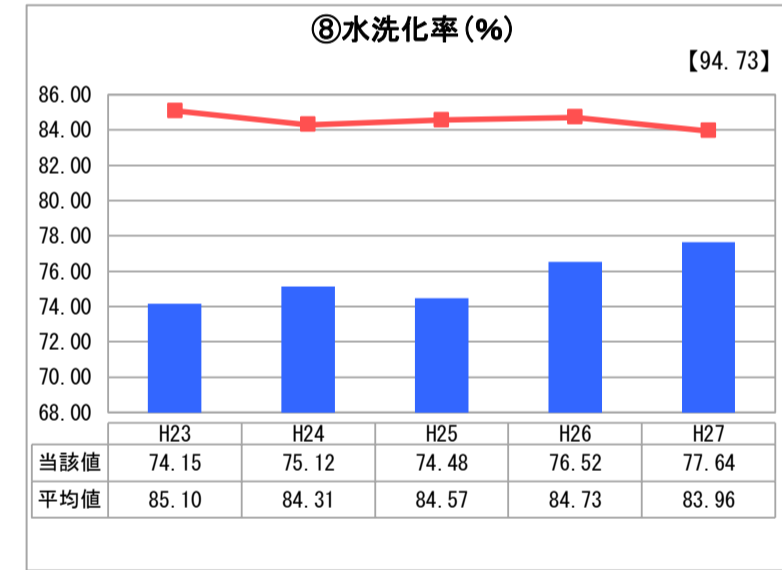
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

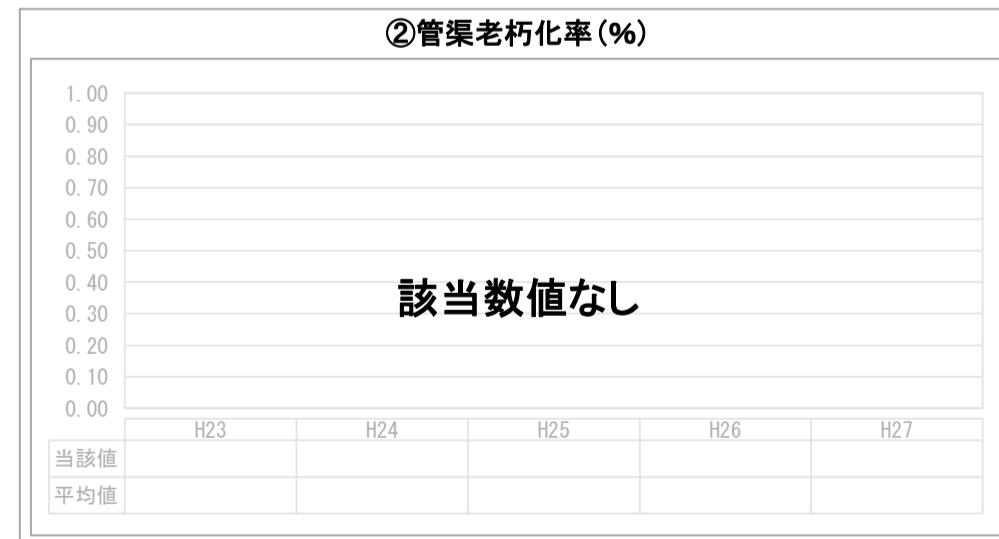


「使用料対象の捕捉」

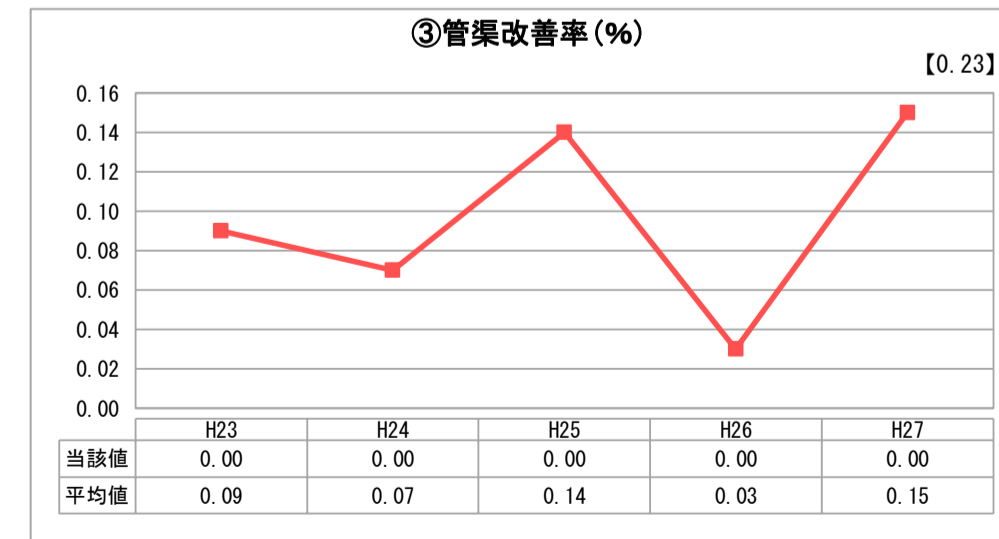
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について
下水道を整備するために借り入れた企業債償還金が多額となったため、下水道使用料のみの収入では足りなく、一般会計からの繰入金などに依存している状況です

④企業債残高対事業規模比率について
地形的要因で事業費が割高なことから企業債残高が高くなっています。反面、人口減少に伴い料金収入が少ないため類似団体と比較して比率が高くなっています。

⑤経費回収率について
人口減少と高齢化による使用料収入の少なさと、事業費が割高なことから支払利息が大きくなっているため類似団体と比較して比率が低くなっています。

⑥汚水処理原価について
地形的条件から事業費が割高になり、元利償還の額が大きくなっているためです。

⑧水洗化率について
人口減少や高齢化で老人世帯が増加、宅内排水工事費の調達が難しいため接続率が伸び悩んでいる。

2. 老朽化の状況について

平成元年から下水道の整備を進めています。今後、更新に当たっては長寿命化などの検討を行い効率化に努めます。

全体総括

1. 快適な生活環境の整備及び公衆衛生の向上を図り、あわせて公共用水域の水質の保全に資するため、安定的・中長期的な視点に立った経営を行います。

2. 接続の促進や不明流入水の削減を行い、維持管理経費の軽減を図ります。

3. 下水道整備が平成32年に終了するので、それ以降は経営を圧迫している企業債償還金の額が減ると考えられます。

4. 指定管理者制度や民間委託等の活用のほか、公共施設等運営権方式を含むPFI等の活用を積極的に検討します。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。